

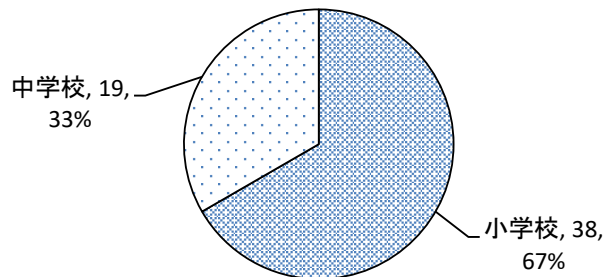
令和6年度実施 就学相談利用者アンケートの結果

令和6年9月26日
第18回教育委員会定例会
教育部教育支援課

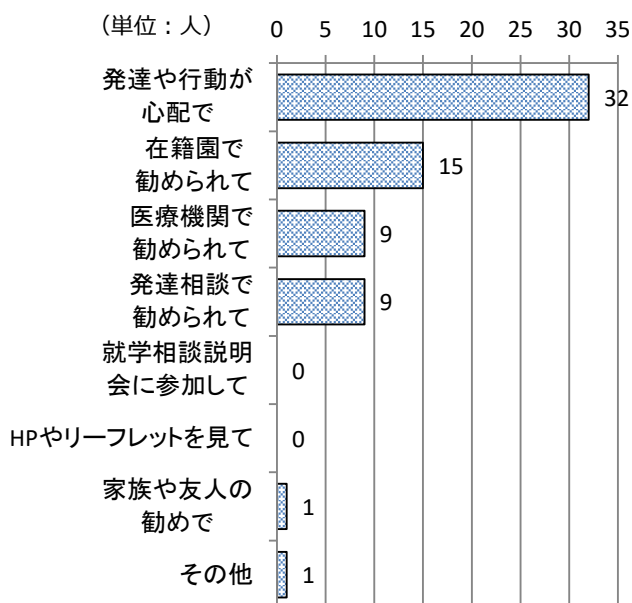
<調査概要>

- 対象世帯：125世帯
令和5年度に就学相談を利用した保護者154世帯中、途中で相談を中止した方や、相談終了後に市外に転出した方など、計29世帯を除く。
- 実施時期：令和6年6月
- 実施方法：郵送で依頼、LoGoフォームで回答
- 有効回答：57（回答率45.6%）

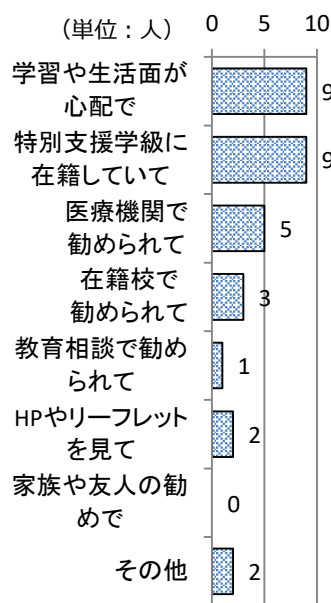
Q1. お子さんの就学は？



Q2. 【年長児】申込みのきっかけ（複数回答）



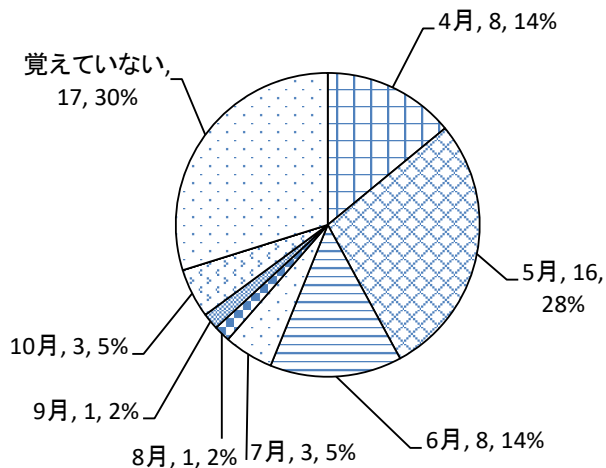
Q2. 【小6】申込みのきっかけ（複数回答）



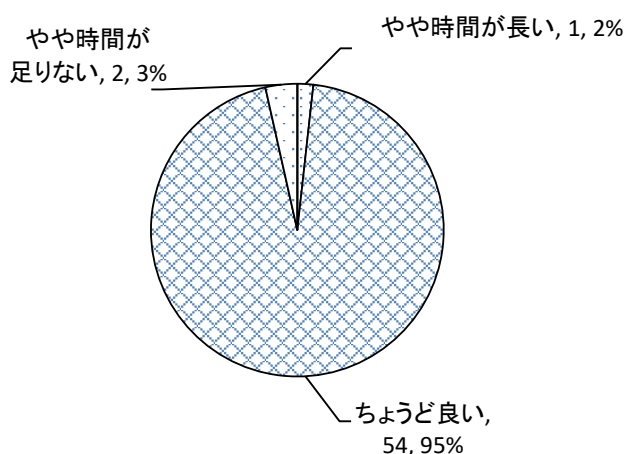
○就学相談の申込みのきっかけ

- ・学校への就学(年長児)では、「発達や行動などで心配があって」を理由に挙げた方が8割程となっています。在籍園や子ども家庭支援センターの発達相談、医療機関でのお勧めも就学相談につながっています。
- ・中学校への就学(小学6年生)では「学習や生活面での心配で」との回答や、「特別支援学級に在籍していて」との回答が大半を占めています。

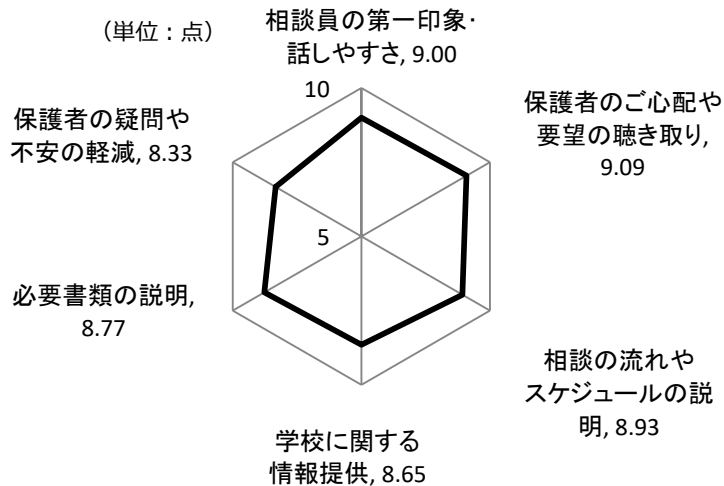
Q3-1. 初回面談の時期



Q3-2. 初回面談の時間



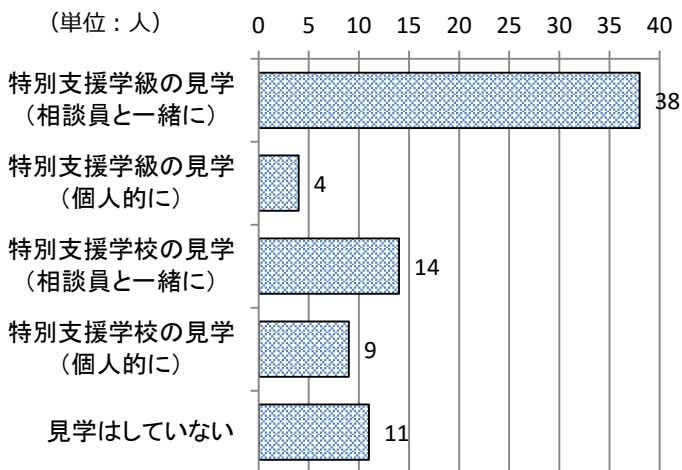
Q 3-3. 初回面談の満足度



○初回面談について

- ・初回面談時の満足度を10点満点で評価していただいたところ、保護者からの聞き取り、相談員の話しやすさやご説明など全般にわたって比較的高い評価をいただきました。
- ・一方で、初回面談は、お子さんの基本情報の聞き取りに大部分の時間を費やしてしまうため、保護者の疑問や不安の軽減や学校に関する情報提供が十分できているとは言えない状況が見て取れます。

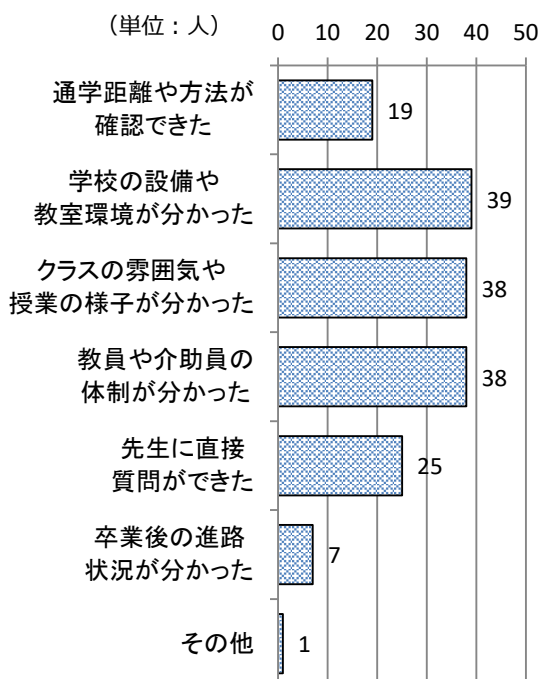
Q 4-1. 特別支援学級等の見学 (複数回答)



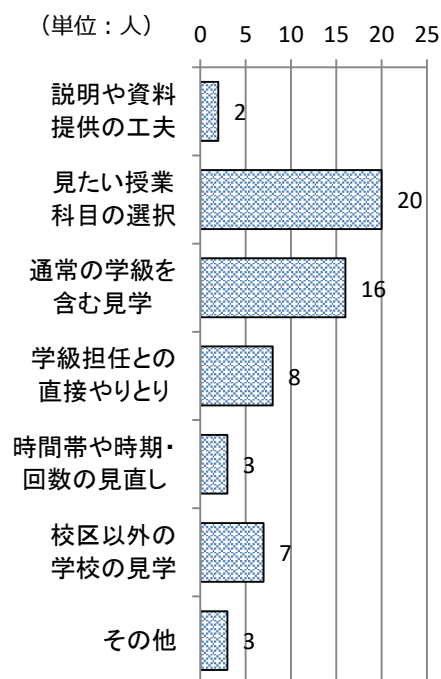
○特別支援学級等の「見学」について

- ・8割以上の方が、特別支援学級を見学しています。
- ・見学を通して、教室環境、クラスの雰囲気や授業の様子、教員体制などがわかったとの感想が寄せられています。
- ・改善や工夫を希望する点としては、見たい授業科目の選択や通常の学級を含む見学をしたいとの声が多くなっています。

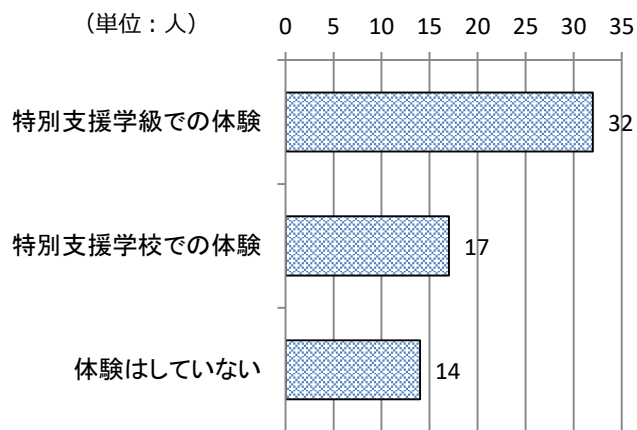
Q 4-2. 【見学した方】良かった点 (複数回答)



Q 4-3. 【見学した方】改善希望点 (複数回答)



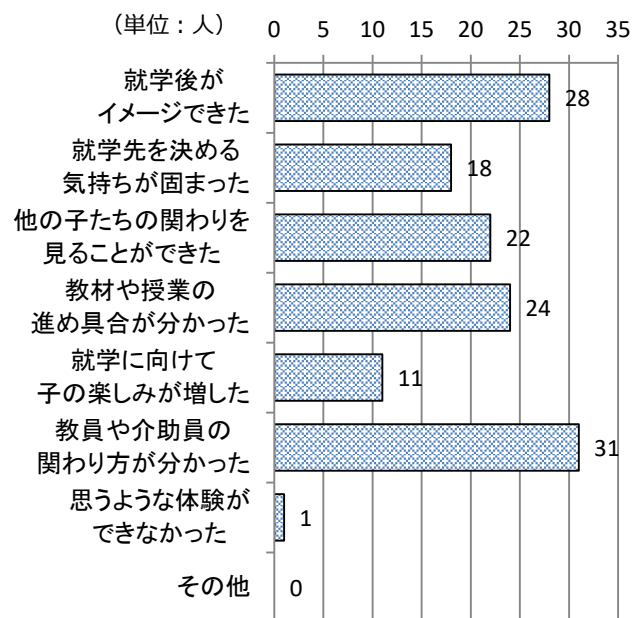
Q 5-1. 特別支援学級等の体験（複数回答）



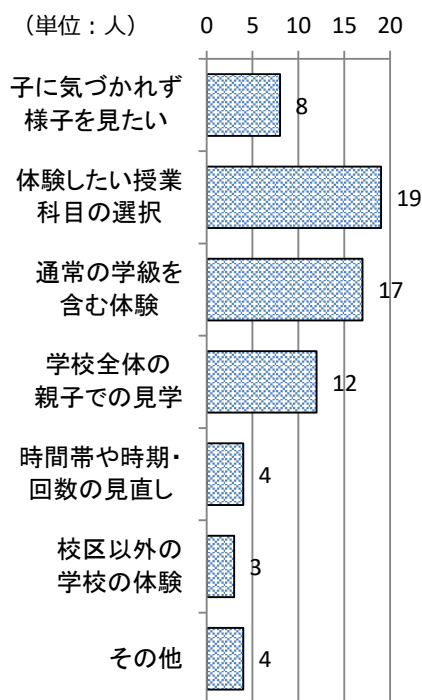
○特別支援学級等の「体験」について

- ・特別支援学級を見学した方が多くが体験もしています。
- ・体験をしてよかった点として多く挙げられている項目からは、教員等や子ども達の関わり、授業の進め具合などを実感することで、就学後をイメージする効果があることがわかります。
- ・一方で、体験したい授業科目の選択や、通常の学級を含む体験がしたいとの声もあります。

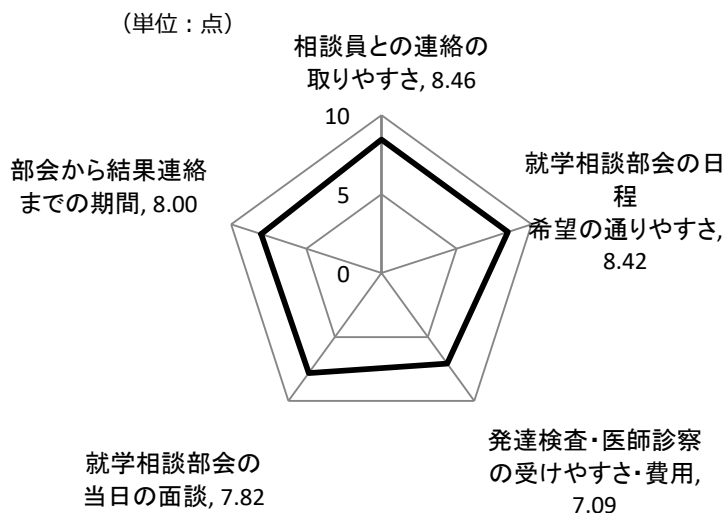
Q 5-2. 【体験した方】良かった点（複数回答）



Q 5-3. 【体験した方】改善希望点（複数回答）



Q 6. 就学相談のプロセスごとの満足度

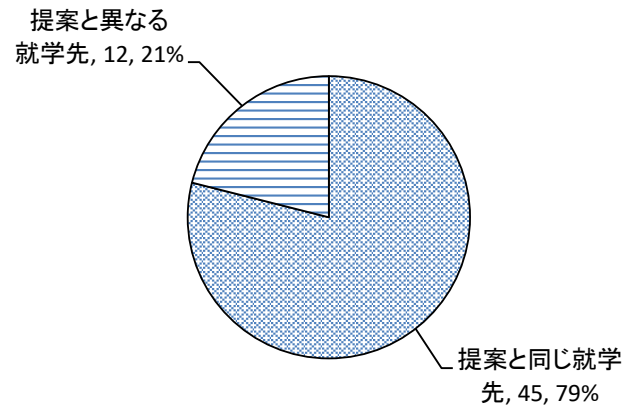
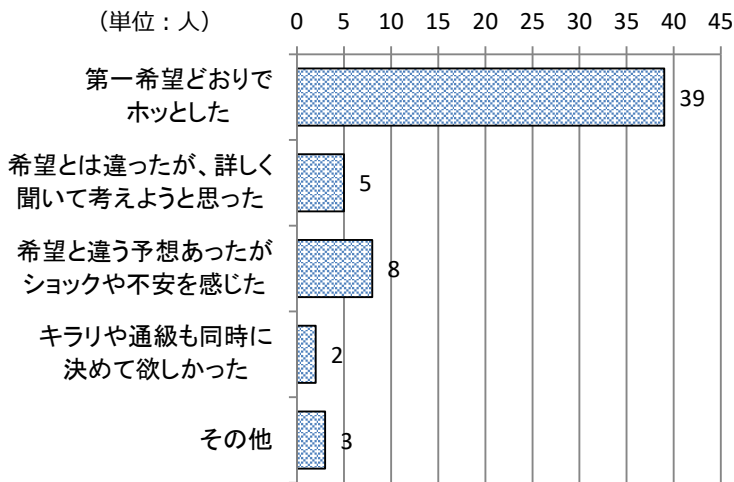


○相談のプロセスごとの満足度について

- ・プロセスごとの満足度を10点満点で評価していただいたところ、比較的ポイントが高かったのは「相談員との連絡の取りやすさ」でした。
- ・一方で最もポイントが低かったのは「発達検査や医師診察の受けやすさ・費用面」でした。医療機関の予約の取りにくさ、診断書等の費用の負担感、子ども未来センターで受けていただく際の日程の制約などが、ポイントの低さにつながっているものと思われます。
- ・この傾向は昨年度実施したアンケートと同様となっています。

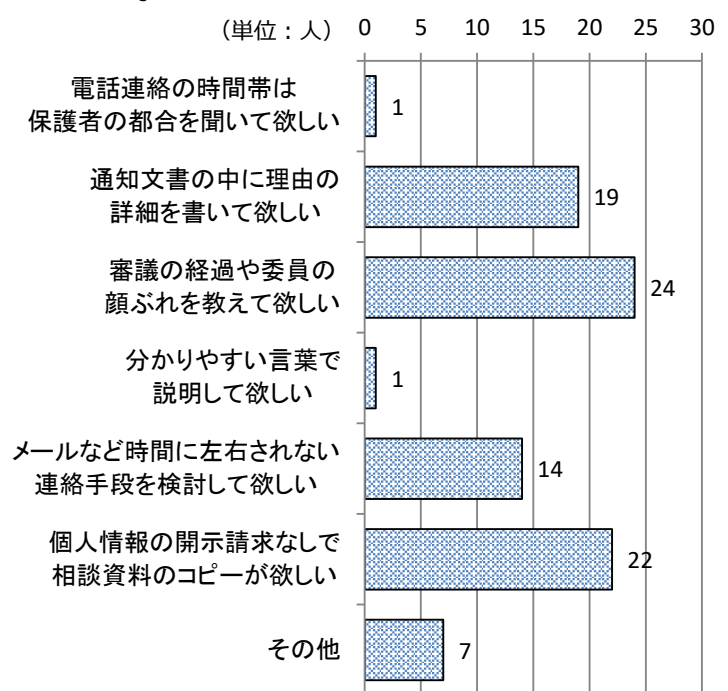
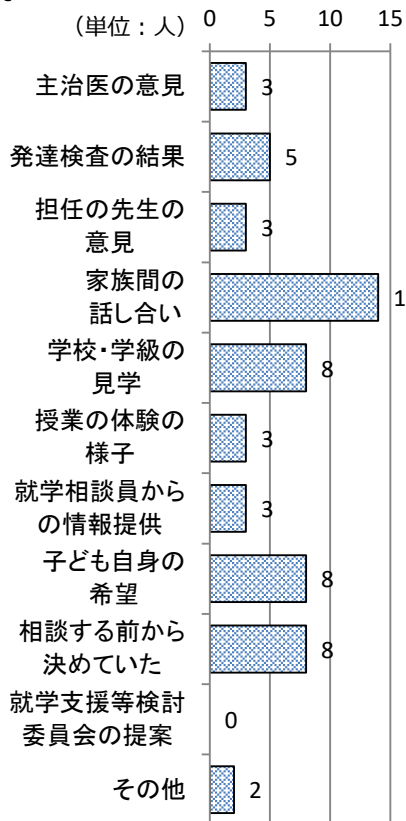
Q 7-1. 提案を聞いたときの気持ち

Q 7-2. 最終的な就学先



Q 7-3. 就学先決定の最も大きな決め手

Q 7-4. 提案時の改善希望点 (複数回答)



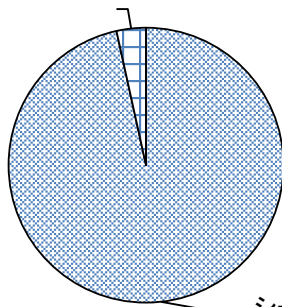
※択一式でしたが、複数回答された方がいるため合計が回答数より多くなっています。

○就学支援等検討委員会からの提案について

- ・就学支援等検討委員会の判断（就学先の提案）を聞いた時の保護者のお気持ちとして、7割弱の方が「希望通りでホッとした」と回答されています。ショックや不安を感じたとの回答も1割程度ありました。
- ・最終的な就学先として、8割程度の児童が「就学支援等検討委員会からの提案と同じ就学先」を選択し、2割の児童は「提案と異なる就学先」を選択しています。
- ・就学先の決定にあたっては、家族間の話し合いや、学校・学級の見学、子ども自身の希望などが決め手になったとの回答が多くなっています。
- ・提案時の改善希望点として、多くの方が「個人情報の開示請求なしで相談資料のコピーが欲しい」「審議の経過や委員の顔ぶれを教えてほしい」「通知文書の中に理由の詳細を書いてほしい」といった回答をされています。相談・審議経過や判断結果に関する情報提供の充実が求められていることがわかります。

Q 8. 就学支援シート（年長児のみ）

シート提出のみ, 1, 3%



シート提出+入学
前面談, 28, 97%

○就学支援シートについて

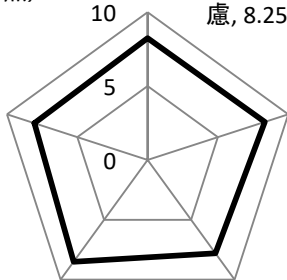
・今回のアンケートに回答した年長児のほとんどの方が就学支援シートを利用しており、その大半が入学前の学校面談も受けています。入学後に提出したという方もいらっしゃいました。

Q9. 就学後の学校生活の満足度

就学支援ファ
イルの

(単位：点)

視覚支援や安
全確保
等の教室環境
の整備, 8.05



校内共有や配
慮, 8.25

クラス分けや
座席位置等の
友だち関係の
配慮, 8.33

担任の先生の
理解や
相談のしやす
さ, 8.51

個別の支援や
課題量
の調整等の配
慮, 7.79

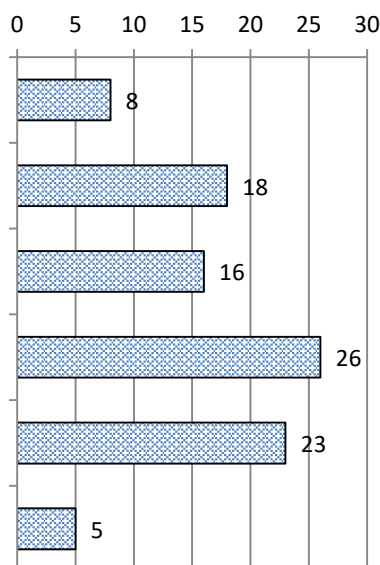
○就学後の学校生活の満足度

・学校生活での支援や配慮に関する満足度を10点満点で評価していただいたところ、「担任の先生の理解や相談のしやすさ」が最も高いポイントとなっています。一方で、個別の支援や課題量の調整等の配慮についてはやや低いポイントとなっています。

Q10. 学校への引継ぎの改善希望点（複数回答）

(単位：人)

保護者からの直接の聴き取りや
相談機会を増やして欲しい

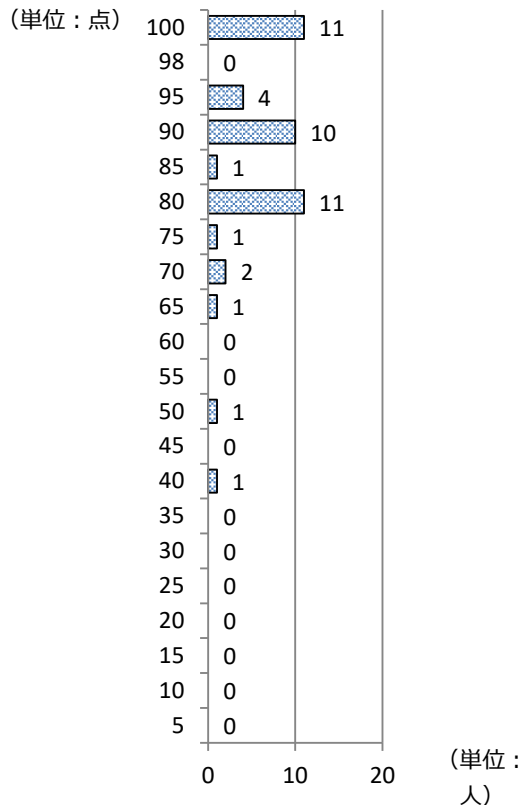


○就学先の学校への引継ぎに関する改善希望点

・多くの保護者が、「学校に引き継がれている内容を保護者にも分かりやすく伝えて欲しい」を選択しています。また、「就学相談で話したことを、学校で何度も話さなくて済むように」や「就学前の様子を直接見たり、担任から聞いたりしてほしい」など、児童の状況をより理解することや、校内での情報や認識の共有を求める声が多くなっています。

Q11. 就学相談を100点満点で言うと？

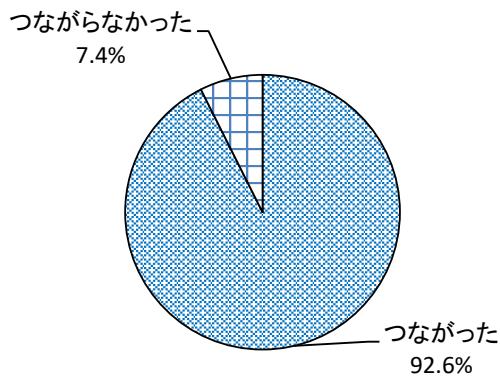
平均 86.4 点



○就学相談全体の満足度

- ・就学相談全般を通しての満足度を100点満点で評価していただき、回答者42人の平均点は86.4点でした。
- ・70点以下の方が5人いらしたことは、ご期待に沿えなかった結果として今後の課題としていきます。
- ・85%の方が80以上の点数を付けてくださったこと、100点満点とご回答いただいた方が11人いらしたことは大きな励みとなります。
- ・引き続き、相談の質の向上に向けて取り組んでまいります。

Q12. 就学先に関する不安と悩みの解消につながりましたか？



○不安、悩みの解消

- ・就学相談を通じて、92.6%の方から不安、悩みの解消につながったとご回答いただきました。
- ・就学時だけでなく、中学校卒業後の進路を見据えた情報も提供します。